

# NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構 (所在地：愛媛県松山市)

<b>事業名</b>	共に学ぶコミュニティ形成実践研究事業		
------------	--------------------	--	--

<b>研究テーマ</b>	学校から社会への移行期 <input type="radio"/>	生涯の各ライフステージ <input type="radio"/>	<b>主な対象</b>	知的障害・発達障害・精神障害・肢体不自由
--------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-------------	----------------------

## 事業の趣旨・目的

- ☆「地域教育実践団体」と「障害者団体」「障害者支援団体」の協働により学習プログラムを開発する。
- ☆障害の有無をこえて「共に学ぶ」ことを楽しむコミュニティを形成する。
- ☆プログラム開発だけではなく、学習記録システムや人材育成、地域連携などにも取り組み、持続可能な仕組みをつくる。

## 事業実施体制・連携先

- ☆連携協議会：障がい者就労支援事業所、就業・生活支援センター、家族会、愛媛県まなび推進課、障がい福祉課、教育委員会特別支援教育課、学識経験者等で構成。
- ☆調査、事業告知、プログラム開発において、それぞれの立場からの知見やネットワークを提供してもらった。

## 学習プログラムの内容

- 各地域でワーキンググループを結成し、プログラムを開発した。
- ①「インクルーシブ・セブンティーン」(中予地区)  
写真との組み合わせや季語カード、ワークシートを活用して「俳句づくり」に挑戦するプログラム
  - ②「ふれて感じとる作品展」(東予地区)  
視覚に頼りすぎない「五感を用いた美術鑑賞」のあり方を模索し、美術展をプロデュースするプログラム
  - ③「手前味噌クラブ」(南予地区)  
味噌にちなんだ経験談やレシピを交換しながらつながりを築き、地方から麦みそ文化の魅力を伝え、広げるプログラム

## 研究の成果と課題

- ☆全てのプログラム開発ワーキンググループに障害者の参画を得ることで、当事者が求める体験・学習内容や学習方法・形態などを反映することができた。
- ☆参加者同士が「共に学ぶ」上で感じる難しさを語り合い、解決法を提案し合うことで、学習者同士の仲間意識や学習意欲の向上につながった。
- ☆イベント性のあるプログラムでは、来場者の中から今後の参加や連携を希望する方などとの出会いがあった。
- ★コロナ禍の影響もあり、人づてで事業を知り参加する人たちが多かった。調査結果からも潜在的な学習ニーズが確認されており、幅広い障害、様々な生活状況の方に届く学習情報や機会の提供が必要である。



はじめての句会





ハイブリッド開催



彫刻作品に触れて鑑賞

## その他研究の詳細など

HP  動画 

←キックオフ動画は県内の学校で教材として活用されました！

法人HPから専用ページに入ると各種報告書、講座案内などがご覧いただけます。Youtubeチャンネルでは学習プログラムに関する告知動画を公開しています。